

男性の家事シェア推進事業【奈良市】

個別事業費	236 千円
交付金額	118 千円

地域の実情と課題

■結婚や出産を機に仕事を辞める女性の年齢階級別就業率(M字カーブ)は都道府県別にみても全国下位にあり、子育て中のパパはもちろんのこと今後パパになる男性の家事参画は、女性活躍を推し進める両立支援としても課題となっている。

事業の特徴

■男性の家事シェア推進事業
・男性が固定的な性別役割分担意識にとらわれず、家事・育児等へスムーズに参加できるよう学習機会を提供する。
・電子レンジを使った簡単料理の実習のほか、家事・育児を見える化した「家事育児シート」について話し合うことで、具体的な家事・育児に関わる意識醸成を後押しする。

事業の効果

■男性の家事シェア推進事業
・料理の基本事項を丁寧に伝えることで、17名参加のもと料理の知識を状態で実習を行うことができた。
・若い男性を対象としていたが、意外と中高年の男性参加も多く、自身で調理することへの必要性和意識の変化が見られた。

目的・目標

■「男を磨く！レンチンで家事力アップ講座～家族にモテる夫やパパになろう！～」のタイトルで、料理や家事を主体的に担う意識の醸成を目的とした料理教室を開催。子育て中・プレパパの若い男性を対象に、電子レンジを用いたおうちごはん作りと「家事育児シート」に関する意見交換を行い、午前・午後の1日2回、各回10名定員のところ11名、6名の合計17名の参加があった。

連携団体

■なら結婚応援団として県のボランティア事業に携りながら、おうちごはん研究家としても家事のあり方を発信している川北侑加氏と連携した。

今後の課題

■子育て中の男性が家事シェアをさらに進める事業とするため、早い段階から十二分の広報周知を行い、参加者増を促す。
■託児あり参加(1歳以上の子ども連れ)により、ママの時間が有効利用できるなど、参加後がイメージできる広報内容とする。

育児中の男性やこれからパパになる男性を対象に、簡単に電子レンジでできるおうちごはんの料理教室を開催し、家事シェアのきっかけとなる場を提供。おうちごはん研究家として発信を続けている講師の指導のもと、スムーズに男性の家事参画を推進でき、固定的な性別役割分担への意識軽減が図れる内容となった。

料理教室での様子

